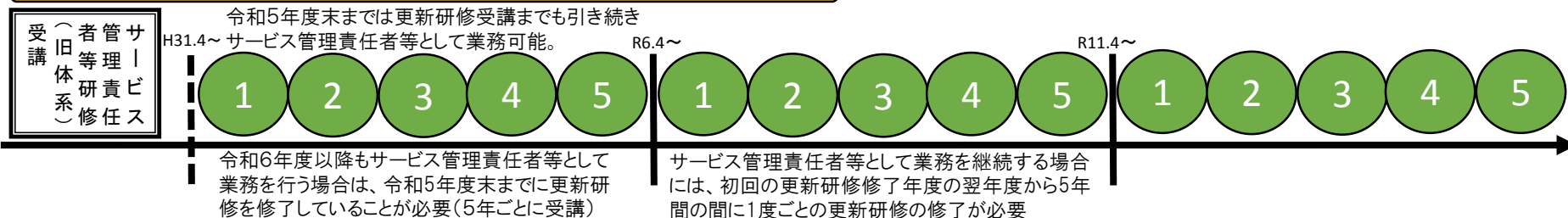


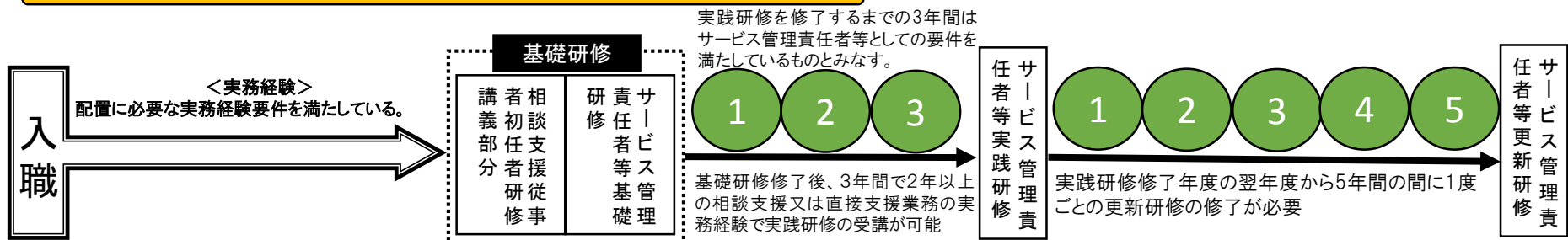
サービス管理責任者研修等の受講の考え方について

1 経過措置について

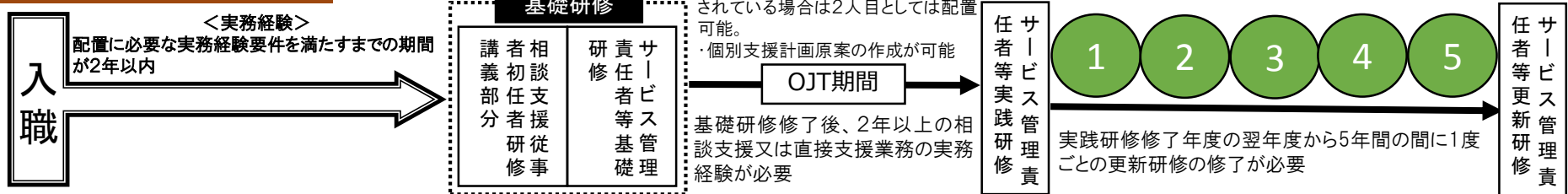
(1) H30年度までの旧体系受講者（R5年度末までに更新研修の受講が必要）



(2) 基礎研修受講時点で実務要件を満たしている者（H31~R3年度受講者に限る）



2 現研修体系の取扱い



3 留意点

- 実践研修を受講する際の一定の実務経験要件として、過去5年に2年以上の相談支援又は直接支援業務の実務経験がある。
 - 実践研修はOJT期間の2年以上の実務経験を満たさない限り受講することができない。
 - OJT期間2年以上の算定は、サービス管理責任者等基礎研修及び相談支援従事者初任者研修（向けを含む）の修了証書に記載された修了日のうち最新のものの翌日以降から起算する。
- 例）サビ管基礎R1.10.1修了、相談初任者R2.9.16修了、R1.10.2から相談支援業務に従事の場合、R2.9.17から起算して、2年以上なので、R4.9.18以降に実践研修の受講が可能。